

記入例

杉並区就学支援シート

杉並区教育委員会

お子さんの氏名 (○ ○ ○ ○) 男・女 平成○○年○○月○○日生

- 1 保護者が記入してから、保育園・幼稚園等に記入を依頼してください。療育機関に定期的に通っている方は、次ページの療育機関の欄もおすでに担当者から別紙で書いていただいている方は、保護者の欄の

※お子さんの所属している機関に記入してもらいます。

※保護者が先に記入してから所属機関等に記入依頼をします。

観 点		保護者の方から	保育園・幼稚園・療育施設の方から
		記入日 ○○年 ○○月 ○○日 記入者 (○ ○ ○ ○)	記入日 ○○年 ○○月 ○○日 所属機関名 (○○○○○○○○) 担当者氏名 (○ ○ ○ ○)
学 習 面	言葉の理解 ・聞く、書く、話す ・表出の仕方、表現 数の理解 音楽、絵、工作 学習態度	言葉は理解していて、日常生活に支障はないが、大きな集団になると指示がわからないときがある。 ひらがな、カタカナの読みと書きはできる。 発音が不明瞭で、現在 ST による指導を受けており、言葉の表現も幼い。 一桁の足し算ができる。 絵を描いたり、工作は苦手。 パソコンでゲームをするのが好き。	・言葉のみの指示や説明で「～をして、次は～で、それから～」と目的が多く、長い話は伝わり難い。視覚的な表示や動きの伴う指示が必要である。クラス全体の指示は、周囲の子の動きを感じ取り同じ行動をとっている。 ・ひらがな、カタカナは読み書きできる。 ・自分なりの言葉で気持ちを表すことができる。 ・発音が不明瞭なところがある。
	運動能力 ・歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ ・手指の動作 病気 等	体のバランスが悪く、筋力がないようです。 手先が不器用で、お箸の使い方がまだうまくできていない。 アトピー性皮膚炎。 他は問題ない。	・走ることや、身体全体を使ったリズム運動なども最近好きになってきて、運動意欲も出てきた。 ・ハサミを使う、つまむ等の手先の細かい動きは、大人の手助けと指導が必要である。
生 活 面	基本的生活習慣 ・身辺処理 着脱（服、運動着、靴）と整理 食事（量、偏食、態度）、排泄、睡眠、清潔 ・健康 ・保健安全行動	衣類の着脱は、一人で全てできる。 脱いだ服をたたむ、しまうのは苦手。 食事は、玉子は食べないが、他はあまり好き嫌いが無い。量は少なめ。 排泄は自立している。 比較的、規則正しい生活なので睡眠時間は一定している。	・園での身支度や片付け等は、ゆっくりだが一人でできている。 ・最近、ボタンのある服も一人で着脱できるようになった。 ・お弁当は残さず食べている。 ・園では、病気で休むことも少なくなり、健康的に過ごしている。
	記入ポイント ※苦手なこと、また、情緒が不安定になったときの対応の方法、学校生活において配慮が必要なことももちろんですが、伸びたところ、できること、得意なこと、好きなことも記入してください。		

	項目 観 点	保護者の方から	保育園・幼稚園・療育施設の方から
対 人 関 係	コミュニケーション ・集団活動への参加（小・大） ・子ども同士の関わり、大人・	友達は、大好きで相手を求めているが、同年代の友達よりも先生と話したり、兄の友達との遊びの方が好きな様子がある。 時々、自分勝手な行動をしてしまい自分自身も困ってしまう場面がある。	・友達と一緒にいることは好きで、自ら遊びの中に入ろうとするが、言葉でのやりとりがうまくできず、ちょっかいを出したり、つついたりしてアピールする場面もある。 ・その表現の仕方に友達がびっくりして、トラブルになることがある。 ・お互いが嫌な思いにならないよう、個別に声かけの仕方や声の大きさ等をその都度指導している。
<p>記入ポイント ※お子さんが、学習や教育活動に取り組みやすい声かけや介助・支援の仕方、落ち着いた学校生活ができる環境設定の工夫などご記入ください。</p>			
そ の 他	全体的な行動 ・集中力、落ち着き ・衝動性 ・情緒の安定 ・こだわり等	長時間座っていたり、人の話を聞いているのは苦手。あきっぽい？ 身体を動かしたり、キョロキョロ周囲を見ているときもある。 怒られると時々、衝動的になることがある。 こだわりは特にはない。	・興味関心があるものには、集中して取り組む（絵本を読む）が、嫌いなこと（お絵描き・工作）にはすぐあきてしまう。 日常的に他の子に迷惑をかける行動があるわけではなく、概ね落ち着いて過ごしている。 ・会話の流れに沿わない受け答えがある。

※療育機関等を利用している場合の記入欄です

2 療育関連機関等と継続的な相談や指導を受けている方は担当者に記入を依頼してください。 (今までの指導で大切にしてきたことや就学後も必要と思われる内容・配慮事項等。)

状況理解や対人コミュニケーションに弱さがあり、周囲の理解と配慮があることが望ましいお子さんです。コミュニケーションのとり方が積極的な反面、一方的な話し方をする場面もあり、大人の仲立ちで相手の気持ちや意図を知る機会を持てるよう配慮することにより、友人同士のトラブルも回避することができます。

療育機関での ST による指導は就学と同時に終了し、発音に不明瞭なところがまだ残っているため、保護者の方も気にしています。就学後も、継続して個別的な支援が必要になると思われます。

現在、医療機関にかかっている就学後も継続して診察してもらう予定です。

※所属機関や療育機関等からは、関係資料を別途提出していただいてもかまいません。書式の規定はございません。

3 就学後の学校生活について、保護者のお考えをお書きください。

就学先の学校に 期待すること・ 思いなど	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室の通級指導を希望しています。 ・学校生活を通じて、社会性や自立心が育ち、思いやりの気持ちや自分への自信などを持たせてあげたいと思っています。 ・新しいお友達がたくさんできて、楽しい学校生活が送れるよう、きめ細かく指導していただけたらと思っています。
----------------------------	---

※お子さんのよりよい成長・発達のために、学校に入学してからも引き継いでほしいと思うことなどをご記入ください。